

第3次広島県肝炎対策計画の計画期間の延長について（協議）

令和3年6月10日
広島県健康福祉局薬務課

1 趣旨

本県における肝炎対策の具体的方針を定めた第3次広島県肝炎対策計画（以下「現計画」という。）について、計画期間を1年間延長したい。

現計画の計画期間：平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）

延長後の計画期間：平成29年4月1日～令和5年3月31日（6年間）

2 計画期間を延長する理由

令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染症への対応業務を県として最優先としたことなどにより、当初予定の令和3年度中に次期計画を策定することが困難となったため。

【令和2年度の状況】

- ・次期計画策定前年度に必要な内部関係者及び外部有識者との協議・調整の機会が得られなかったこと。
- ・各種肝炎対策事業の大幅な中止又は規模縮小により、現計画に対する当該年度の対策の評価が見込めなくなったこと。

【次期計画策定スケジュールの状況】

	R2年度（次期計画策定前年度）		R4年度（次期計画策定年度）	
	上半期	下半期	上半期	下半期
R2年度当初	次期計画策定スケジュール作成 内部協議・調整	達成状況評価 次期計画骨子案策定 肝炎対策協議会	次期計画案策定 肝炎対策協議会 目標値見直し	肝炎対策協議会 パブコメ実施 次期計画策定 (R4.4～)
R3年度当初の現状	新型コロナウイルス感染症対応 (次期計画策定スケジュールの遅延)		次期計画策定スケジュール作成 内部協議・調整 肝炎対策協議会	達成状況評価 次期計画骨子案策定 肝炎対策協議会

3 今後の予定

現計画の目標達成状況は別紙のとおりであり、未達成の目標値もあることから、計画期間を1年延長し、引き続き各種肝炎対策を実施することにより、目標値の達成に取り組む。

なお、計画期間の延長は1年限りとし、現計画期間中におけるこれまでの肝炎対策の状況及び目標値達成状況を踏まえ、次年度に新たな目標値を設定した次期計画を策定することとする。

4 次期計画策定スケジュール（見込み）

年度	R3年度（次期計画策定前年度）		R4年度（次期計画策定年度）	
	上半期	下半期	上半期	下半期
内容	内部協議・調整 肝炎対策協議会 (6/10)	達成状況評価 次期計画骨子案策定 肝炎対策協議会 国基本指針改定（見込）	次期計画案策定 肝炎対策協議会 目標値見直し	肝炎対策協議会 パブコメ実施 次期計画策定 (R5.4～)

(参考資料)

1 目標値の達成状況 (R3.3月末現在)

施策区分	指標	目標値	現状値	達成状況
全体	肝がんによる75歳未満年齢調整死亡率の15%以上減少	5.6 (R2年)	4.4 (R元年)	達成
予防	肝炎ウイルスの感染予防に関する認知度	50%以上 (R3年度)	41.3% (R2年度)	未達成
検査	肝炎ウイルス検査の受検率	55% (R3年度)	47.3% (R元年度)	未達成
	肝炎ウイルス検査の普及啓発を実施している健康保険組合の割合	100% (R3年度)	52.9% (R元年度)	未達成
相談・受療	初回精密検査費用助成利用率	60% (R3年度)	8.8% (R元年度)	未達成

2 目標の達成見込み

上記の状況を踏まえ、現時点での目標達成見込みは次のとおりである。

指標	目標値	現状値	達成見込み※	左記の根拠
肝がんによる75歳未満年齢調整死亡率の15%以上減少	5.6 (R2年)	4.4 (R元年)	○	現時点では達成しているが、短期間では死亡率が上昇することがあるため、今後の推移を注視する必要がある。
肝炎ウイルスの感染予防に関する認知度	50%以上 (R3年度)	41.3% (R2年度)	△	現状値の状況から、計画期間内での目標達成には、更なる効果的な対策の実施が必要であるため。
肝炎ウイルス検査の受検率	55% (R3年度)	47.3% (R元年度)	△	現状値の状況から、及びこれまでの対策の実施状況を踏まえた伸び率を考慮すると、計画期間内での目標達成には、更なる効果的な対策の実施が必要であるため。
肝炎ウイルス検査の普及啓発を実施している健康保険組合の割合	100% (R3年度)	52.9% (R元年度)	△	毎年度着実に実施割合は増加しているものの、計画期間内での目標達成には、更なる抜本的な取組の推進が必要であるため。
初回精密検査費用助成利用率	60% (R3年度)	8.8% (R元年度)	×	目標値と現状値の乖離が大きいこと、及びこれまでの対策の実施状況を踏まえた伸び率を考慮すると、計画期間内での目標達成が困難と見込まれるため。

※見込み評価 ○：達成予定 △：達成には相当な努力が必要 ×：達成が困難